

県内経済動向調査結果(平成22年2月分)

平成22年4月6日

産業政策課

概 況

県内経済は、製造業で持ち直しの動きが見られるものの、総じて厳しい状況が続いている。

主な業種	状 況
製 造 業	<p>持ち直しの動きが続いている</p> <p>生産額、受注額はそれぞれ前年同月比53.8%増、同50.9%増となった。 3か月先の業況見通しDIは0.0から4.8となった。</p>
建 設 業	<p>厳しい状況となっている</p> <p>受注額、完工高はそれぞれ前年同月比12.5%減、同30.4%減となった。 3か月先の業況見通しDIは▲37.5から▲13.3となった。</p>
小 売 業	<p>引き続き弱い動きとなっている</p> <p>売上高は前年同月比3.7%減、3か月先の業況見通しDIは▲50.0から▲35.7となった。</p>
サービス業	<p>運輸業で回復の動きが見られる</p> <p>売上高は前年同月比3.9%増、3か月先の業況見通しDIは▲37.0から11.1となった。</p>

製造業の動向

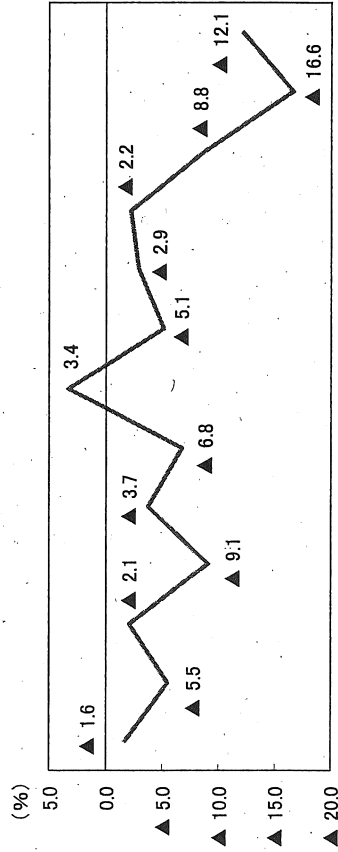
1 食料品

弱めの動き

生産額は前年同月比12.1%減。3か月先の業況見通しDIIは▲28.6から▲35.7となった。

酒類では、県内消費が減少しているほか、消費者の低価格志向により、落ち込んでいる。調味料関連では、味噌の売上が不調であった。魚類加工食品では、ネット販売が増加し、売上が伸びた企業が見受けられた。総じて見れば、前年同月比のマイナスが続き、弱めの動きとなっている。

食料品生産額前年同月比



21年 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 22年

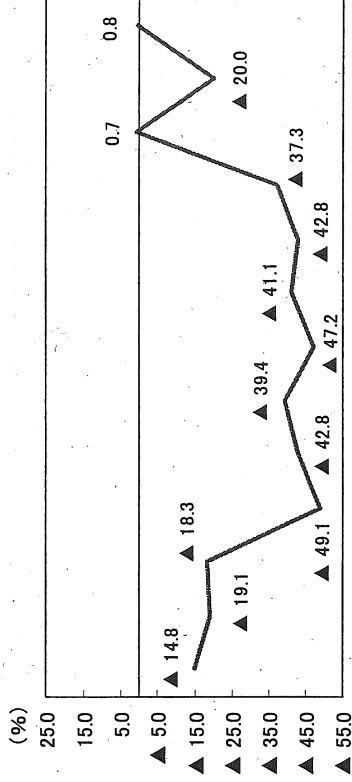
2 繊維・衣服

弱めの動き

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比0.8%増、同7.6%減。3か月先の業況見通しDIIは▲16.7と変わらない。

通信販売用の女性衣料が堅調であることなどにより、全体としては、前年並みの生産額となっている。一方、百貨店、小売店での衣料販売の減少が続いているほか、今後の受注減が見込まれることから、休業日を計画している企業も見受けられ、弱めの動きとなっている。

繊維・衣服生産額前年同月比



21年 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 22年

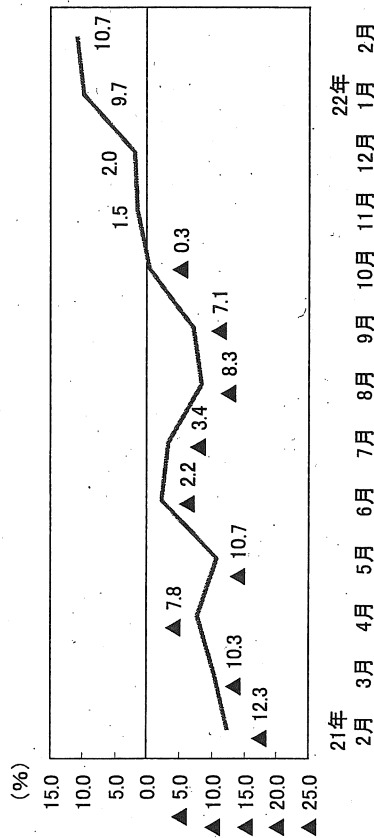
3 木材・木製品

やや持ち直しの動き

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比10.7%増、同16.9%増。3か月先の業況見通しDIは▲8.3から16.7となった。

一般製材、合板では、前年同月比プラスとなっており、全体としても4ヵ月連続でプラスを確保し、やや動きの見られる状況が続いている。住宅市況が落ち込んだままであるが、住宅エコポイントの効果による需要増が期待される。

木材・木製品生産額前年同月比



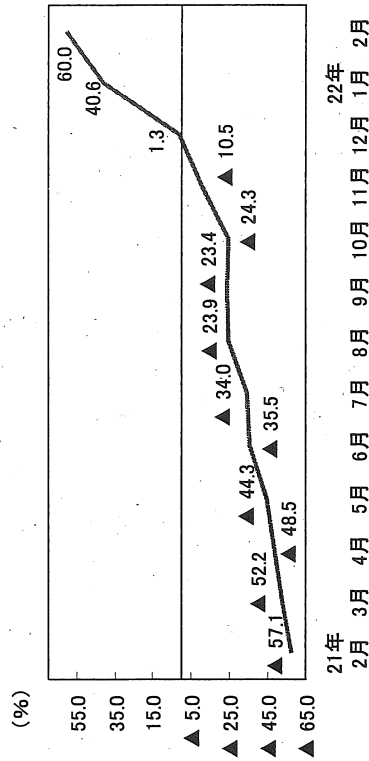
4 鉄鋼・金属製品

弱めの動き

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比60.0%増、同52.6%増。3か月先の業況見通しDIは▲9.1から18.2となった。

前年の生産額の落ち込みが大きかったために、前年同月比では大きくプラスになっている。鉄鋼の産業設備関連では、発注減数が減少し、新規受注が得られにくい状況となっており、今後も厳しい状況が予想される。金属の輸送機械部品関連では、好調となっているほか、基板部品関連でも回復基調にある。総じて見れば、回復の動きが見られるが、休業を実施している企業もあるなど、弱めの動きとなっている。

鉄鋼・金属生産額前年同月比

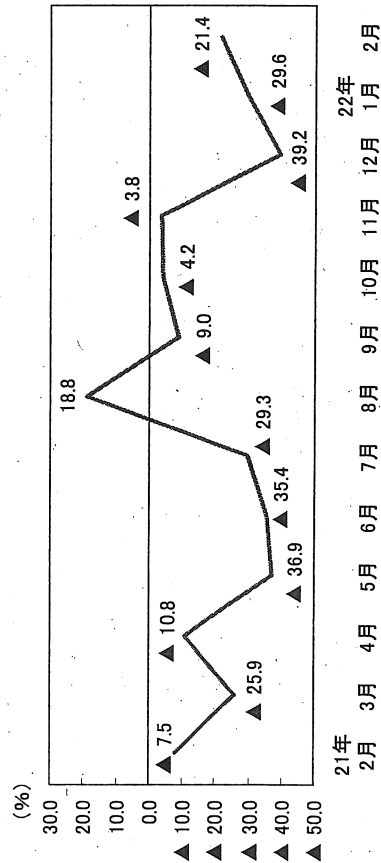


5 一般機械

弱めの動き

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比21.4%減、同44.6%減。3か月先の業況見通しDIIは▲14.3と変わらない。
公共工事関連や産業機械関連で、一部持ち直しの動きが見られるものの、総じて見れば、生産額の前年同月比のマイナスが続いているほか、休業日を設ける企業も見受けられるなど、弱めの動きとなっている。

一般機械生産額前年同月比

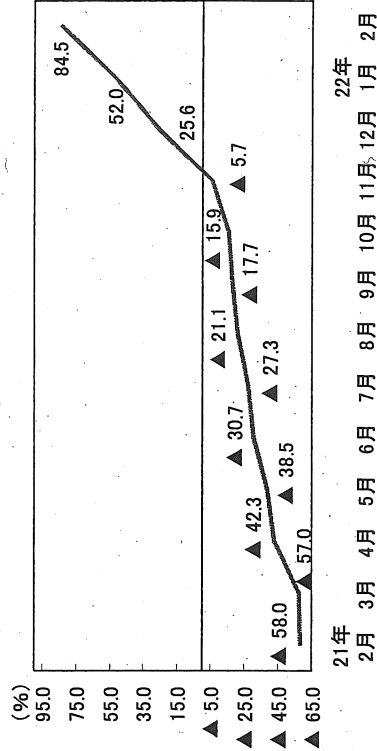


6 電気機械

持ち直しの動きが続く

生産額、受注額は、それぞれ前年同月比84.5%増、同81.6%増。3か月先の業況見通しDIIは26.3と変わらない。
前年の生産額の落ち込みが大きかったために、前年同月比では大きくプラスとなっているものの、昨春秋以降の落ち込み以前の水準までの回復までには至っていない企業が多い。コンデンサーでは、フル生産となっている企業も見受けられるが、単価が下落している状況が見受けられる。基板では、スマートフォン向けが好調となっている。

電気機械生産額前年同月比



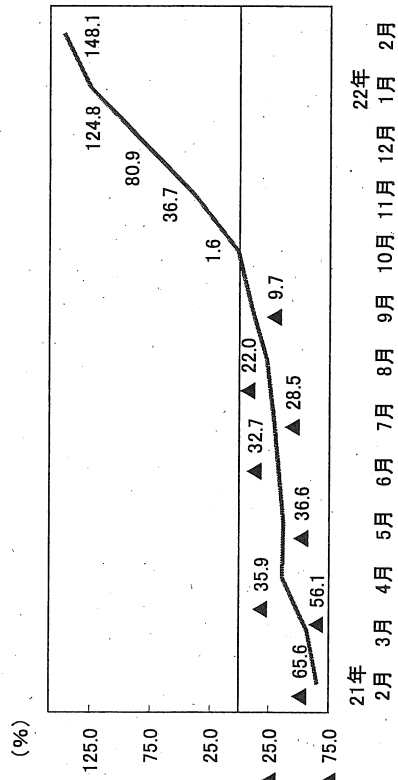
7 輸送機械

回復基調が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比148.1%増、同143.6%増。3か月先の業況見通しDIは▲16.7と変わらない。

前年の落ち込みが大きかったこともあり、調査対象企業の全てで前年同月比増となっており、全体としても大幅増となっているものの一昨年の水準までには至っていない。派遣社員を増員している企業や土曜日出勤により増産を行っている企業もあり、回復基調が続いている。

輸送機械生産額前年同月比



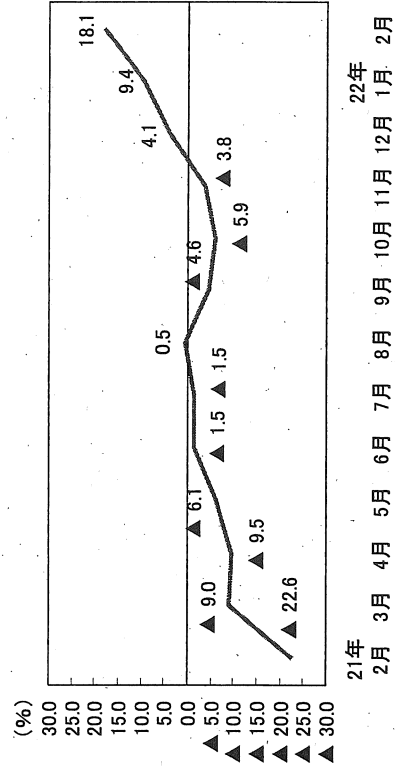
8 精密機械

弱含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比18.1%増、同4.4%増。3か月先の業況見通しDIは50.0から37.5となった。

医療機器関連では、横ばい状態にあり今後も前年並に推移していくことが見込まれている。計量関連では、官公庁向けなどの受注増により、回復してきているものの、前年同月比ではマイナスが続いている。工場の製造ライン向け照明装置は、好調となっている。

精密機械生産額前年同月比



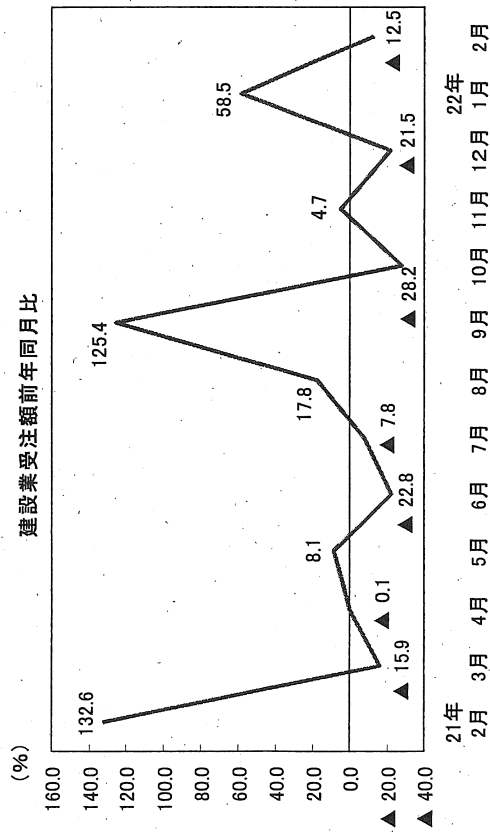
建設業の動向

建設業

厳しい状況となっている

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比12.5%減、同30.4%減。3か月先の業
況見通しDIは▲37.5から▲13.3となった。

学校の耐震工事や高速道路関連工事の受注により好調だった企業が一
部あるものの、先月に引き続き、季節的な要因もあり、受注がゼロの企業が
見受けられるなど、全体としては前年同月比がマイナスとなっており、厳しい
状況となっている。



小売業の動向

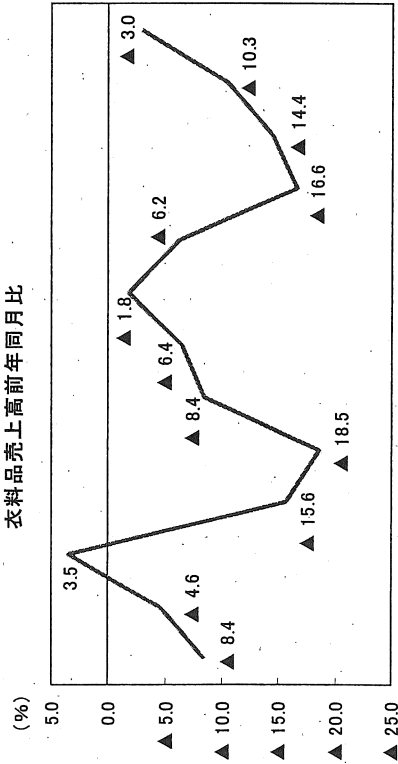
1 衣料品

低調な売上となっている

売上高は前年同月比3.0%減。3か月先の業況見通しDIは▲33.3から0.0と
なった。

企業向けについては、やや動きが見られたものの、個人向けでは、消費マ
インドが低い状況となっており、必需品のみを購入するなど、落ち込んでい
る。

衣料品売上高前年同月比



21年 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月
22年

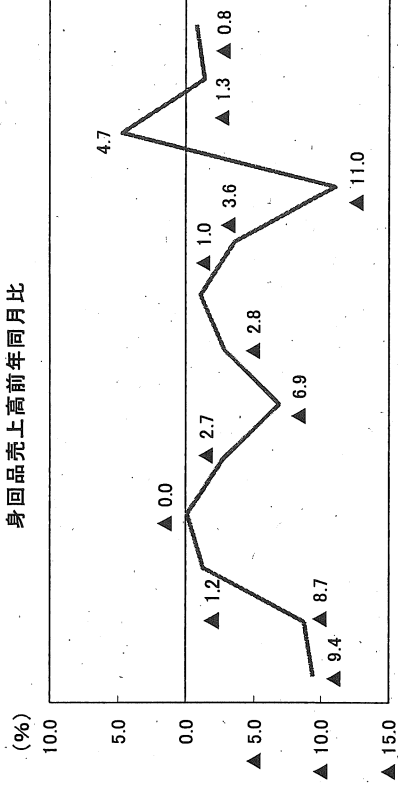
2 身用品

弱含みとなっている

売上高は前年同月比0.8%減。3か月先の業況見通しDIは▲66.7から
▲33.3となった。

ホームセンターでは、資材関係が好調であったものの、他品目の売上は
ふるわず、客数も落ち込んでいる。化粧品や手芸用品においても、売上は
減少しており、総じて見ると弱含みとなっている。

身用品売上高前年同月比



21年 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月
22年

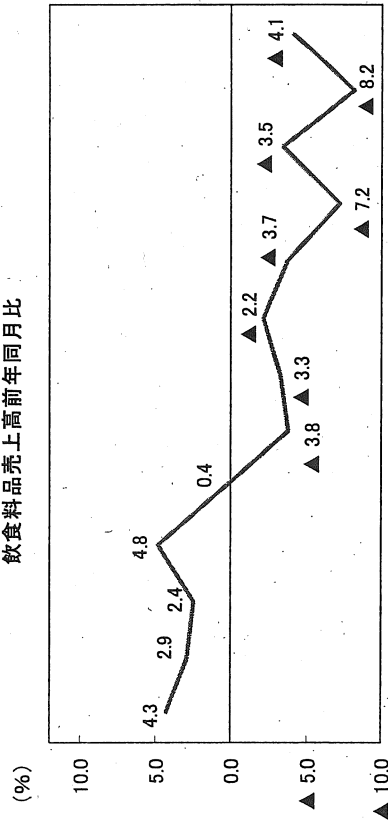
3 飲食料品

弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比4.1%減。3か月先の業況見通しDIは▲53.8から▲50.0となった。

スーパーでは、低価格帯の弁当を中心に、総菜類が堅調となっているものの、それ以外については全体的に減少傾向にあり、客単価の低下が続いている。コンビニにおいては、客数、客単価の前年比割れが続いているが、弁当類の売上に若干回復の兆しも見られる。

飲食料品売上高前年同月比



21年 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月

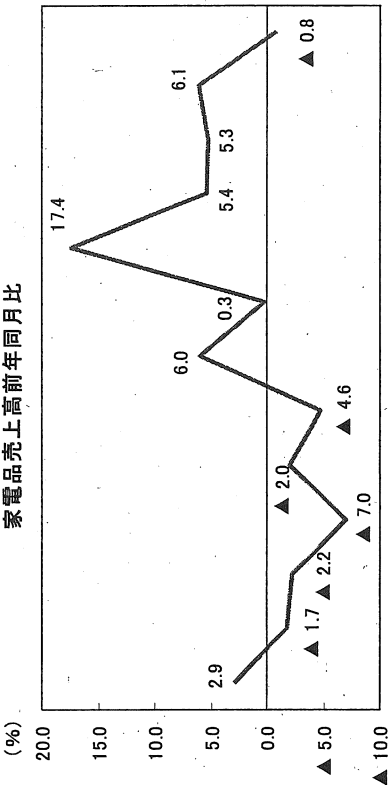
4 家電品

薄型テレビの好調が続く

売上高は前年同月比0.8%減。3か月先の業況見通しDIは▲40.0と変わらぬ。

エコポイント制度の効果により、薄型テレビが引き続き好調となっているものの、冷蔵庫や洗濯機が不調であり、全体としては若干のマイナスとなった。今後、エコポイント制度の見直しに伴い薄型テレビの対象機種が減少することによる影響が懸念される。

家電品売上高前年同月比



21年 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月

サービス業の動向

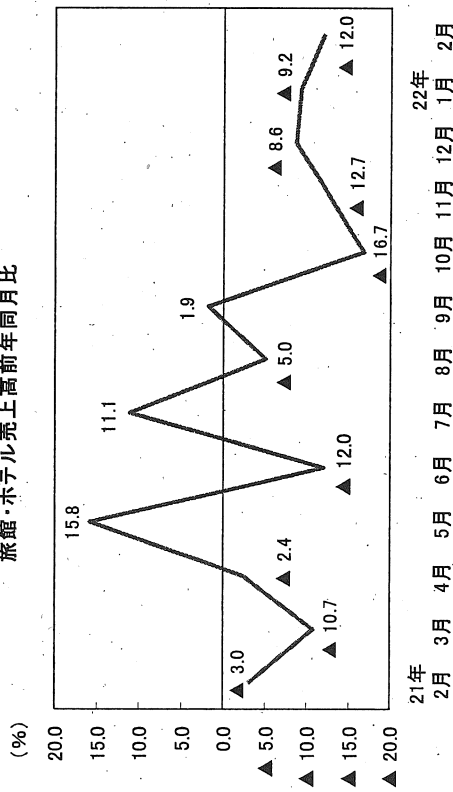
1 旅館・ホテル

弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比12.0%減。3か月先の業況見通しDIIは▲46.7から26.7となった。

婚礼部門の増加により売上を伸ばした企業も見受けられるものの、宴会部門では、回数等の減少により落ち込み、宿泊部門では、概ね前年並みとなった。企業により業況が分かれているものの、総じて見れば弱めの動きとなっている。

旅館・ホテル売上高前年同月比



2 その他サービス

運輸業、情報サービス業で好調

売上高は前年同月比12.8%増。3か月先の業況見通しDIIは▲25.0から▲8.3となった。

運輸業では、貨物輸送において、自動車関連部品の生産が増加していることの影響などにより、好調となっている。情報サービス業では、国の学校整備事業により、情報関連設備の売上が増加しており、今後も好調に推移することが見込まれる。

その他サービス売上高前年同月比

